

「地域振興」校外学習 ～「山王寺の棚田」～

総合学科（地域クリエイト系列）

6月11日（金）「日本の棚田百選」に認定されている雲南市大東町の「**山王寺の棚田**」でフィールドワークをしました。「**里山暮らし研究所**」代表の**多久和厚さん**に「研究所」と棚田周辺を案内していただき、「**棚田における自然環境の保全と地域振興の取り組み**」についてお話を伺いました。

「環境保全」も「地域振興」も、常に「**持続できますか？**」と問い続けることが大切であると学びました。「山王寺棚田」の多久和さんの取り組みは、まるごと「**SDGs**」の**実践**であることに気づきました



<展望台からの眺め>



<棚田には貴重な生き物がいっぱい>



<里山暮らし研究所「里山ハウス」の見学：風力・太陽光・バイオの力を活用した環境に優しい暮らしの提案>



<耕作放棄地を活用した遊び場から棚田を見ながら、「山王寺棚田」の由来や特徴などの説明を聞く>



＜棚田を維持するために…マコモの栽培、自然環境を保全するために…ピオトープとしての利用＞



＜空き家を活用した研修施設にて…「環境保全と地域振興の在り方」を考える・特製「マコモ茶」をいただく＞



＜お礼として生徒が栽培した「ヤマブシタケ」を進呈＞

＜最後に記念撮影をしました＞



＜棚田を支援する制度：「棚田トラスト制度」「棚田オーナー制度」＞